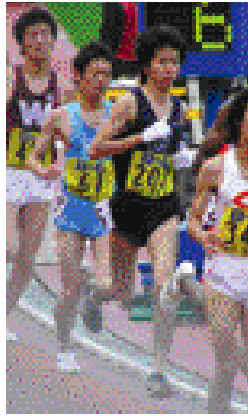


フレッシュマン特集

入学してから3ヶ月、新生が各部の中心選手として早くも頭角をあらわしてきた。ここでは今後4年間、東洋大学の看板を背負う選手たちを特集した。

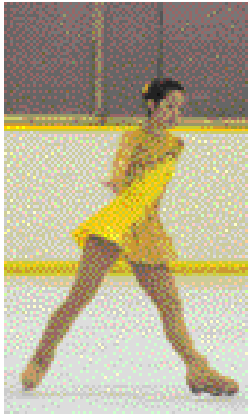


市川健一君
(経済学科1年)

陸上競技部 長距離部門

「箱根で優勝したいんだ」。声の主は川嶋伸次東洋大学陸上競技部監督だ。市川君は当時を二つ振り返る。大学進学をまだ考えていない高校2年のとき、オリンピックに出場した川嶋監督に声をかけられて、箱根駅伝の話を知り、それまで強くは思っていなかった箱根駅伝で走ることに目標になった。

入学してから走るたびにベスト記録が出ているがどこかに壁があると感じている。強くはなれた実感としては、以前は、レース中に体より気持ちが悪くなっていたが今は気持ちより体が悲鳴を上げる感じ。と大学での練習の質の高さを表現する。早起きはきつけれど、他大学と比べるとチーム練習の時間が少ないので、5時半からの朝練習で力を入れていると自己管理の大切さを合宿所生活で学んだと笑う。最後に目標を聞くと市川君は、箱根で優勝したいです。川嶋監督と同じ言葉だ。



若尾夏希さん
(社会心理学科1年)

アイススケート部 フィギュア部門

初の公式戦である、関東学生フリースケート選手権大会で3位入賞を果たした若尾さん、大会前にケガをしてしまい、棄権しようか迷いました。ただ、出場することが決まったら、もうやるしかないかなと思って、ある意味ふざけて、緊張しないで臨みました。

小学生からフィギュアスケート一筋。地元、山梨県から東京のリンクに通い、練習を重ねてきた。学校の授業もあるし、両立が大変でした。辞めた時もあったけど、私からフィギュアをとったら何も残らないです。から。現在でも朝6時と、夜6時半からの練習が週のほとんどをしめる。練習がなくなったら、何をすればいいのかわからなくなるでしょうね笑。

今後は10月の全日本選手権出場が当面の目標だ。もうとスタミナをつけ、迫力ある滑りをしたい。観客の方には、表現力に注目して欲しいですね。さらなる成長に期待だ。

アイススケート部 ホッケー部門



芳賀陽介君
(社会学科1年)

「デフエンダーの僕が取れる賞だとは思っていませんでした。ただ、決勝戦で2ゴール決めた時、ひよっとしたらという気持ちはありましたね」と芳賀君ははにかみながら話す。関東大学アイスホッケー選手権大会では、その活躍が認められ、大会の最優秀新人選手に選ばれた。前線に早いパスを送って、攻撃の基点になるような心がけています。そして、チャンスがあれば得点を狙うのが僕のスタイルです。と話すように、その攻撃的姿勢が持ち味だ。事実、準決勝・決勝と大事な試合で得点を決め、チームの勝利に貢献した。

今後の目標を尋ねると、「目標は大きく、すべての大会で優勝したいです」と頼もしい答えが返ってきた。「そのために、個人としてはまず失点を0に抑える守備が第一。それからタイミング良く攻撃に参加したいですね。」

硬式野球部



中倉裕人君
(マーケティング学科1年)

青山学院大学との優勝決定戦は惜しくも敗れ、優勝を逃してしまいましたが、1年生ながら3番をまかせられ、全試合に出場した中倉君の活躍は、今後大いに期待できるものだろう。打率3割8分9厘、本塁打3本の堂々たる成績。本人は、高校の先輩でもある今岡さん、阪神タイガース97年法律卒が残り、通算100安打を超える高校の監督から言われて、東洋大学に入学しました。目標の数字ですねとまだ満足していない。実際、ストレートならそんなに速くもついていくことができた。ただ、変化球に弱い。そこをどれだけ克服するかが勝負です。と自分を冷静に分析し、向上心を忘れない選手だ。

目標とするのは中日ドラゴンズの福留孝介選手。故郷鹿児島県の中学校から、大阪のPL学園進学まで、まったく同じ道をたどった方です。憧れの存在です。卒業後はもちろんプロ志望。ただその前に、リーグ戦10回目の優勝を早く見せてほしい。そのために中倉君の活躍が必要だ。

大学スポーツを 応援しよう！



祝！優勝！アイススケート部ホッケー部門

第54回関東大学アイスホッケー選手権大会

本学がすべての賞を独占ナリ！

最優秀選手賞

櫻野 善一(社会文化システム学科4年)

最優秀新人賞

芳賀 陽介(社会学科1年)

ベスト6

- 小林 志史(社会文化システム学科4年)
- 任田 圭祐(社会文化システム学科3年)
- 角田 博司(社会文化システム学科3年)
- 今村雄太郎(社会福祉学科3年)
- 坂本 祐介(社会文化システム学科3年)
- 阿萬野礼央(経済学科2年)



キャプテン櫻野君のもと、チーム一丸となつての勝利だった

今大会フル出場した GK小林君を中心に守り抜いた

皆さんは大学スポーツの応援に行きましたか？神宮球場？両国国技館？駒澤体育館？前号で紹介した各クラブの春季大会も終わり、活躍したクラブ・選手にスポットを当ててみました。

17ページの試合日程のように、各クラブの熱戦が今後も繰り広げられます。ぜひ現地向向いて、熱い声援を送ってください。

ユニバーシアード代表決定



船津友里さん
(英語コミュニケーション学科3年)



大学生のオリンピックといわれるユニバーシアード。今夏8月15日にトル・イニスブルで行われる夏季大会に女子レスリング48kgの代表に決まった船津友里さんに抱負を聞いた。

過去にも国際大会は経験している。大学1年次に世界J選手権4位、2年次にはアジアJ選手権優勝とステップを踏んできた。今大会は、国内の全日本女子レスリング選手権優勝とユニバーシアード準優勝という結果が評価されての出場になる。

「違う階級の代表には、アテネオリンピック代表で金メダルを取った選手も行くので、自分だけ負けたらどうしようというプレッシャーもある。しかし、日本代表の良い流れに乗って、今大会は何色でもいからメダルを獲って帰りたい」と船津さんは心境を語る。

「特に力を付けてきている中国の選手には負けたくないです。そういった、大学1年の時の世界大会で負けたのも中国の選手でした。対策を練って勝負に臨みたいと思います」と抱負を語った。



第37回全日本大学駅伝対校選手権大会の出場が決定

11月6日(日)に開催される秩父宮賜杯第37回全日本大学駅伝対校選手権大会(名古屋・熱田神宮、三重・伊勢神宮)の関東地区選考会が6月11日(土)に大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場で開かれ、本学は2年ぶり14回目の出場を決めた。

選考会は1校8名を4組に分けて、各組2名ずつで10,000mのレースを行い、8名合計タイムの上位7校までが本大会へ出場できる。メンバー8名中3名を1年生で臨んだ本学は、1年生の粘りのある走りで見事に6位に食い込んだ。伊勢路で鉄紺のユニフォームが跳ぶように活躍する雄姿を期待したい。

◆各部活の試合日程

| | | |
|-----------|------|----------------------------|
| 陸上競技部 | 7月 | 日本学生陸上競技対校選手権大会 |
| 射撃部 | 7月 | 全日本学生高校生ライフル射撃選手権大会 |
| 相撲部 | 8月 | 全日本大学選抜相撲十和田大会 |
| | 9月 | 東日本学生相撲個人体重別選手権大会 |
| バスケットボール部 | 8-9月 | リーグ戦 |
| 自動車部 | 8月 | 全日本ダートトライアル選手権 全日本ジムカーナ選手権 |
| 体操部 | 8月 | 全日本学生新体操選手権大会 |
| アーチェリー部 | 8月 | 関東学生個人選手権大会 |
| ラクロス部 | 8月 | 関東学生リーグ戦 |
| 硬式野球部 | 9月 | 東都大学秋季リーグ |
| サッカー部 | 9月 | 後陣リーグ戦 |
| 準硬式野球部 | 9月 | 秋季リーグ |

| | | |
|--------------|-----|------------------------|
| 日本拳法部 | 9月 | 埼玉東日本拳法選手権大会 |
| ゴルフ部 | 9月 | 朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権関東地区予選会 |
| バレーボール部 | 9月 | 秋季リーグ戦 |
| ヨット部 | 9月 | 秋季関東学生ヨット選手権大会予選 |
| バドミントン部 | 9月 | 関東学生バドミントン秋季リーグ戦 |
| アメリカンフットボール部 | 9月 | 秋季リーグ戦 |
| テニス部 | 9月 | 関東大学テニスリーグ |
| ハンドボール部 | 9月 | 秋季リーグ |
| ラグビー部 | 9月~ | 関東大学リーグ戦 |
| 弓道部 | 9月~ | リーグ戦 |
| 柔道部 | 10月 | 全日本学生体重別選手権大会 |
| ローラースケート部 | 10月 | 全日本学生ローラースケート選手権大会 |